

森の中の丸ごと図書館(仮)

オープン1年前祭

今と昔をむすび、  
未来の梶原のために…

2017年

3月15日(水)

開場:17時30分 開演18時

会場:ゆすはら座

# 笑って、 知って、 考える。

第1部

## 春風落語会

笑う門には春きたる!



第2部

## 車座ワークショップ

どんな図書館?こんな図書館に!

コーディネーター:太田剛

梶原町「森の中の丸ごと図書館」アドバイザー  
慶應義塾大学講師

主催:梶原町教育委員会 / 「森の中の丸ごと図書館」(仮)準備室  
協賛:図書館と地域をむすぶ協議会

# 新しい図書館と、梶原の未来を語りませんか？

梶原の自然に学び、歴史を展き、文化に遊ぶ、新しい図書館へ

2018年春、梶原町の知と文化の拠点「森の中の丸ごと図書館(仮称)」がオープンします。設計は雲の上ホテルや町役場の設計で梶原町の名を全国に轟かせた隈研吾さん。その空間に息を吹き込み、成長を促すのは町民の皆さんです。オープン1年前に古の文化の拠点に集い、昔と今を笑いでつなぐ落語で大いに頭をほぐした後、新しい図書館と未来の梶原について語り合ってみませんか？

3月15日(水)

会場：ゆすはら座

17時30分開場 18時開演(20時30分終了予定)

## 【第1部】

### 笑う門には春がくる！

本を読んだり借りたりだけが図書館ではない！古典から新作まで自由に操る鯉朝師匠が土佐落語も披露。笑いの内に、地域の歴史と活きた文化をアーカイブする、図書館の真の姿が見えてくる。

## 瀧川鯉朝 春風落語会

### 【瀧川鯉朝プロフィール】

平成4年8月 春風亭柳昇に入門、「柳吾」で前座になる

平成4年9月 浅草演芸ホールで初高座、演題「狸札」

平成8年9月 ニツ目に昇進、「昇輔」に改名

平成15年6月 柳昇死去のため、瀧川鯉昇門下に移籍

平成18年5月 真打昇進、「瀧川鯉朝」と改名

高知県出身。出囃子は、高知県出身の森小弁をモチーフとする『酋長の娘(私のラバさん)』。真っ当な古典落語とともに、ブラックでマニアックな新作落語も得意とする。橘左近に寄席文字を指導され、余芸とは思えぬ腕前を持っている。テレビドラマ「タイガー&ドラゴン」では出囃子の制作、演奏に参加。劇中の落語の指導助手を務めるなど多方面で活躍中。

ブログ「鯉朝のすいぞくかん」

<http://ameblo.jp/watashinorabasan/>

## 【第2部】

### 車座ワークショップ 「どんな図書館？こんな図書館に！」

#### ●Part1 レクチャー

まちづくりの核になる図書館

まちづくりの核となる図書館として注目される全国の事例を紹介しながら、現在準備中の新図書館のソフトプランについて、その考え方や概要をお話します。

#### ●Part2 編集ワークショップ

梶原の未来をひらく図書館へ

町民の皆さんの力で成長する図書館をめざして。新しい図書館のイメージを触発しながら、梶原の未来を言葉に託して、形にしている編集ワークショップ。

## コーディネーター 太田剛

梶原町「森の中の丸ごと図書館」アドバイザー  
図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター  
慶應義塾大学講師／編集工学機動隊ギア代表

### 【太田剛 プロフィール】

高校教師(生物)等を経て1990年より編集工学研究所(松岡正剛所長)に所属。メディア制作から自治体や企業の情報戦略まで担う実践チームを統括。95年の阪神淡路大震災を契機に、電子コミュニティシステムの開発に携わり、地域ICT活用プロジェクトを多数手がけ、2006年より慶應義塾大学SFCで「ネットワークコミュニケーション実践」を教える。12年に独立し、編集工学機動隊ギアを設立。14年には、「図書館と地域をむすぶ協議会」を立ち上げ、幕別町(北海道)、茂木町(栃木)、荒川区(東京)、那智勝浦町(和歌山)ほか、全国の図書館のコーディネーターやアドバイザーとして、全国を飛び回っている。

**入場無料・申込不要**

【問合せ】 梶原町教育委員会:TEL0889-65-1350 FAX0889-40-2055